

## 「キリスト教入門講座」

2018年度・毎週木曜日午後2時から、元寺小路教会集会室にて

### 講座の案内：

主イエス・キリストは、十字架上で殺され復活させられてから、40日間にわたって弟子たちに現れた後、天に昇られました（使徒言行録1.3-11参照）。

そこで、イエスはガリラヤの山で、弟子たちに命じられました。

「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなた方は行って、すべての民を弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。（マタイ28.18b-20）

このイエスのご命令に従って、イエスの弟子になることを希望する方々に、イエスの教えの基本を手ほどきし、もし洗礼を希望するのであればその準備をもいたします。

また、すでに洗礼を受けられた方も、初心に帰って改めてイエスの教えを学ぶことができる講座です。

準備するテキスト：①『聖書 旧約聖書続編つき新共同訳』、『みんなで読む聖書』、その他レジメが配付されます。

### 第一部 キリスト者の信仰への道しるべ

第一課題：神からの人間への語りかけ（啓示）

第1テーマ：救いの歴史における神の語りかけ（創世記1.26-27参照）

1. 啓示とは、神からの語りかけである（ヘブライ書1.1-2参照）
2. 神は救いの業と出来事によって語りかける（ヨハネ1.1-18;使徒言行録9.1-22参照）

## 第2テーマ「救いの歴史」

1. 神の救いの計画 (エフェソ書 1.3-6)
2. 神はすべての人たちが救われることを望んでおられる (テモテ 2.4 参照)
3. 救いの歴史は、神の独り子イエス・キリストによって大きな山場を迎えた (ヘブライ書 1.1-3 参照)
4. 人間となられた神のことば (ヨハネ福音書 1.14,18 参照)

## 第3テーマ「救い主イエス・キリスト」

1. 旧約聖書が語るメシアの預言 (サムエル記下 7.8-16; イザヤ書 7.14 参照)
2. 救い主の誕生の予告 (ルカ福音書 1.26-38)
3. イエス・キリストの誕生 (ルカ福音書 2.1-21; マタイ福音書 1.18-25 参照)
4. 神の国の福音を伝えたイエス (マルコ福音書 1.14-15 参照)
5. 全人類の救いのために十字架上でご自分を天の御父にささげられた (ヨハネ福音書 3.14; 14.32 参照)

## 第4テーマ「イエスの活動を継続する教会」

1. 弟子たちを全世界に派遣されたイエス (マタイ福音書 28.16-20 参照)
2. 教会の誕生 (使徒言行録 1.6-11; 2.1-13 参照)
3. キリストの体である教会 (エフェソ書 1.15-23 参照)

## 第5テーマ「教会を体験する」

1. イエスの名によって集まる只中にイエスがおられる（マタイ 18.20 参照）。
2. イエスが<sup>かしら</sup>頭であり、わたしたちがそのからだである（エフェソ 1.22-23；コリント 12.27 参照）。
3. わたしたちはお互い多様性の一致によって結ばれている（コリント 12.12-26 参照）。しかも、弱いと思われる人が必要である。
4. <sup>かしら</sup>頭であるキリストに向かって愛によって成長してゆくくからだである教会（エフェソ 4.12-16 参照）。
5. 典礼は教会活動の頂点であり、同時にあらゆる力が流れ出る源泉である（『典礼憲章』10 項）。
6. 教会は福音を<sup>の</sup>宣べ伝えるために存在する（教皇パウロ六世使徒的勸告『エヴァンジェリイ・ヌンティアンディ』14 項）。
7. ミサによってこそ、教会は育てられ、一致と交わりを体験できるので、教会を体験できる最も大切な集いである。

## 第6テーマ「秘跡を生きる」

1. キリストは秘跡である「人となられた神の子であるイエス・キリストは、父のみ旨を果たすために地上に神の国を開始し、父の神秘を人々に啓示し、従順によって贖いを成就されました。実にキリストご自身において神の国が現れているのであって、キリストこそ人々に神のいのちを与える見えるしるしそのものであり、**<根源的な秘跡>**である」（「入信の秘跡の緒言1」）。
2. **教会は秘跡である**「教会は、父からの賜物としての聖霊を与えられ、愛と謙虚と自己放棄を命じるキリストの掟を忠実に守ると共に、諸国民に神の国を告げる使命を受け、地上における神の国の芽生えとなった。従って教会は、神との親密な交わりと全人類一致のしるしであり道具であって、キリストにおける**秘跡**である。
3. **教会の七つ秘跡**「キリストのからだである教会の中で、キリストのいのちが信じる人々の中に広がってゆくのであって、かれらは見えない恵みの見えるしるしである諸秘跡を通して、苦しみと栄光を受けたキリストに神秘的、実在的に結ばれる。
4. **キリスト教入信の秘跡**（洗礼・堅信・ユーカリスト<聖体>）「すべての秘跡の中心であるミサと、それにむけられている洗礼と堅信は、キリスト教入信に秘跡と呼ばれる。この三つの秘跡によって悪の力から解放されて真の自由を得、キリストと共に死んで葬られ、キリストと共に復活して（マコ6.1-14参照）神の子となる霊を受ける（マコ8.14-17参照）。そして、キリスト教生活全体の源泉であり頂点である主の過越の記念を、神の民と共に感謝にあふれて喜び祝う。

洗礼によって、キリストに結ばれて神の民に加わり、またすべての罪を赦され、水と聖霊によって新しく生まれる。こうしてわたしたちは神の子と呼ばれ、事実、神の子となる（ヨハネ 3.1；マ 8.15 参照）。

堅信によって、父の賜物である聖霊のしるしを受け、主にいっそう似る

## 第7テーマ 「信仰による癒し」

1. 旧約時代の体験：みことばによる癒し（アラムの王の軍司令官ナアマンの体験：列王記下 5.1-14 参照）。
2. イエスの時代の癒しの奇跡：
  - (1) イエスのおことばの権威（マルコ 1.21-28 参照）。
  - (2) 多くの病人を癒されたイエス（同上 1.29-34 参照）。
  - (3) 重い皮膚病を癒されたイエス（ルカ 17.11-19 参照）。
  - (4) イエスの服に触れて癒された女（マルコ 5.21-34 参照）。
  - (5) 生まれながらの視覚障害者が癒される（ヨハネ 9.1-34 参照）。